



蔵王：不帰の滝

東北空調衛生工事業協会主催 工場見学会を終えて

令和元年10月30日

日比谷総合設備(株)東北支店 エンジニアサービス部
伊藤 誠哉



令和元年10月30日に東北空調衛生工事業協会様主催の工場見学会が開催され、天候も晴天に恵まれ、絶好の工場見学会日和となりました。

弊社からは、山崎支店長を含め3名参加させて頂きました。

私は、昨年につき、2回目の参加となり、今年はどこ現場若しくは、工場見学になるのかと心待ちにしておりました。

今回は、工場見学がメインの構成となっており、まず初めは、荏原製作所風力機械の国見工場の見学をさせて頂きました。

色々なニーズに合わせて送風機を用意しており、国内にとどまらず、海外の色々な国へ、供給していることが改めてわかりました。

工場の中を見学させて頂いたときに気づいたのですが、機械を使った細かい作業は女性の方が多く担当されているのに驚きました。適材適所に人員を配置していると感じました。



また、コストを低減させる為に、出来るだけ機械で製作させ、人で製作する部分を少なくしており、効率良く製作するように努力されていることが良く解りました。注文してから、3日間で製作完了しているとおっしゃっていたのには驚きました。

作業場環境もすごく整理整頓されており、色々な従業員の方々に、知恵を出し合いながら、作業場環境を改善されているのかなと感じました。

これは、永遠のテーマになってしまうかもしれませんが、作業場で唯一、難しいのが空調設備がないことです。局所対応となっているのが現実だと思います。

大空間の為、インシヤルコストとランニングコスト等が掛かり、仕方がないかと思いますが、冬は寒く、夏は暑い環境の中で作業されている方々のことを考えると、難しいですが、少しでも改善されればと感じました。



次に見学したのは、超大手のコカ・コーラボトラーズジャパンの蔵王工場を見学させて頂きました。まずは、ビデオで「コカ・コーラ」の誕生・あゆみ・製品の製作工程等の説明を受け、その次に、オペレーターさんの説明を聞きながら、工場の中を見学致しました。

あいにく、機器の安全点検中の為、製造している過程を見ることができませんでしたが、殆ど機械だけで自動で製造されているのがわかりました。

資材を運搬するフォークリフトまでが自動運転しているとのことで、驚きました。

ついにここまでできてしまったのかと感じました。近いうちに、工事現場もAI化が進みAIロボットが仕事し、それを私達が管理するようになる時代がそこまできているのかなと改めて感じました。

工場見学中にオペレーターさんが教えてくれたのですが、缶製品やペットボトル製品に製品を作った工場の場所が分かるように印字されているとのことでした。賞味期限が印字されていることは知っていましたが、製作した工場が分かるように印字されているのは、知りませんでした。

因みに蔵王工場は「Z」が印字されるとのことでした。

また、リサイクルにも力を注いでおり、ペットボトルは、作業員の方の作業着に活用されていたり、使用した茶葉を乳牛の餌に再利用されていたり、創意工夫しながら大切な資源を守るように努めていることが解りました。

限られた資源を上手く活用しなければ、地球の未来はなくなると改めて思いました。建設業界も同様だと思います。

現場で発生した、廃棄物等の分別を行いリサイクルして、少しでも地球にやさしくありたいと思いました。

各工場見学が終わった後は、昼食を取りました。そこで、初めて温麺を食べました。そうめんの味に似ておりましたが、麺の長さが短く、食べやすかったです。

昼食後、御釜を見学に行きましたが、あいにくの天候で、御釜を見ることができませんでした。昨年5月に一度見たことがあったので、今回は、どのように見えるのか楽しみにしていただけにとても残念でした。

今回の工場見学も自分に色々と考えさせられるきっかけとなり、有意義な工場見学となりました。来年も都合が合えば、今年同様、若手社員を連れて、参加させて頂きたいと思えます。

最後になりますが、今回の見学会の為に段取りされました技術委員会の皆様へ御礼申し上げます。

